

2025年度日系社会研修（多文化共生推進／日系協力型） 日系サポーター コース概要

NO	11
所管センター	中部
分野	教育
研修コース名（日）	ムンド校メソッドで学ぶ日本語指導者育成コース
受入人数	2
受入時期	上半期
来日日	2025年5月11日（日）
帰国日	2025年12月13日（土）
提案団体（日）	学校法人ムンド・デ・アレグリア学校
提案団体 ウェブサイトアドレス	www.mundodealegria.org
研修員必要資格	不問
研修員に必要な実務経験年数	不問
日本語能力（選択） ※日本語能力試験認定の目安参照	日本語能力に関しては不問だが、日本語能力ゼロの場合は、英語を話せることを条件とします。
ポルトガル語 スペイン語能力	ポルトガル語・スペイン語能力に関しては、どちらかの言語ができれば大丈夫です。
研修目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本語教師として、ムンド校メソッドを学び自身の指導能力を向上させる。 2. 在日する南米の子どもたちの問題・課題を把握する。 3. 子どもたちに有効な教材を考える 4. 自身の日本語能力を向上させる。
期待される成果 （習得する技術）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「識字指導法」「日本語指導法」の習得 2. 教材開発能力 3. 在日日系人の子どもたちの現状把握 4. 自身の日本語能力向上 5. 日本語能力試験合格

<p>研修計画（内容）</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生徒としての体験—スペイン語圏の研修員はブラジル高校課程に、ポルトガル語圏の研修員はペルー高校課程に生徒として一定期間授業を受け。在日日系人の子どもたちが、日本の学校に編入した場合、言葉がわからない状態で教科授業を受けなければならないことがどれほど苦痛で大変かを体験する。 2. 研修員として母語授業見学—母語授業がどのように行われているのかを見学する（幼稚園～高等部） 3. 日本語授業見学—様々な学年の様々なレベルの日本語授業を見学する。 4. 日本語能力試験対策クラスを受講し、12月の日本語能力試験を受験する。 5. 自身のレベルに合った高校生クラスの日本語授業を受講する。 6. 日本語授業でのアシスタントをする。 7. 子どもたちにあった教材開発に挑戦する。 8. 日本語指導法・南米の子どもたちの現状を学ぶ（座学） 9. 日本語授業において、実習及びOJTを実施する。 10. 振り返りシートを作成する。 11. 研修の成果を発表する。
<p>研修実施の背景／日本国内の中南米出身者のコミュニティにおける現状、多文化共生等課題解決を推進するにあたっての問題・現状等</p>	<p>浜松には南米からの多くの定住外国人の子どもたちが在住しているが、彼らの教育においては、多くの問題・課題を抱えている。日本の小・中・高等学校に在籍している子どもたちが多くいるが、彼らは、日本語も全くわからない状態で、日本の学校に編入し、教科学習を日本語で受けなければならないため学習が積み上がらない。また、日本の学校に在籍している子どもたちは、家庭でも学校でも母語の学習する機会がほとんどない。結果、日本の中学校を卒業する頃には、長く日本の学校にいたとしても、日本語話せるが、文章読解、漢字能力は小学校低学年程度。そして、自身の母語においても読み書き能力が極端に落ちるといふ「ダブルリミテッド」となる生徒が少なくない。ムンド・デ・アレグリア学校（以下、ムンド校）は、そのような日本の学校で苦しんでいる子どもたちのためにスペイン語で学べる学校を作りたいとペルー人保護者に懇願されて2003年に創立した学校である。ムンド校は「すべての子どもたちに学ぶ喜びを」を教育理念として、校長を筆頭に、ブラジル人・ペルー人・日本人教員が一丸となって、母語教育で教科を学び、豊かな心を育む。そして、日本語教育で日本で生きる力をつけるために日々教育を実施している。また、日本で進学・就職を希望する生徒も少なく、日本語教育とともにキャリア教育も実施している。さらに、日本の小・中・高・大学との交流活動、地域交流活動も実施し、子どもたちがコミュニティに留まることなく、孤立せず自立していける取り組みを行っている。</p> <p>これまでムンド校が南米の子どもたちの教育に取り組んできた中で、大きな課題・問題の一つは「日本語教育の指導法」である。非漢字圏の子どもたちへの指導法は日本でもまだまだ発展途上である。ムンド校は、これまでの20年あまり、南米の子どもたちへの日本語教育について、現場目線で教材・指導法を研究・開発してきており、新しく開発した教材・指導法を子どもたちへ実践し成果を得ている。</p>
<p>本研修実施の意義 応募者への裨益効果</p>	<p>本研修では、「ムンド校メソッドで学ぶ日本語指導者育成コース」において、ムンド校が開発した教材・指導法を学び、実際に教材・指導法を用い授業をしてみる。そして、南米からの子どもたちの問題・課題を把握することで以下の裨益効果を期待する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ムンド校メソッドの授業実施により日本に在住する南米の子どもたちの日本語レベル、及び日本語学習へのモチベーションの向上 2. 自身の日本語指導能力の向上 3. 帰国後、他の日本語教師に南米の子どもたちに適した指導法を伝えることで、母国の日本語教師の指導レベル向上、及び、日本語を学ぶ子どもたちの日本語レベル・日本語学習のモチベーションの向上 4. 在日している子どもたちの問題・課題を把握し、帰国後、母国において多くの人に知ってもらおう機会を創出 5. 2022年度・2023年度・2024年度研修を受講した帰国研修員と連携し、「team ムンド」として、南米の日本語教育に貢献
<p>応募希望者への特記事項</p>	